



連載

SDGsを知って、できることから始めよう③

SDGs（持続可能な開発目標）について、連載でお伝えしています。今回は17のゴール（目標）のうち「2 飢餓をゼロに」をご紹介します。

目標2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

食

べられるのに捨てられてしまう食品ロスは、日本では年間600万トンを超えています。これは国民1人あたり毎日お茶わん1杯のご飯を捨てている量となり、世界の飢餓に苦しむ人々に対する世界の食糧援助量の約2倍に相当します。また食品が捨てられると、生産に使われた土地や水、労力なども無駄に。処理に伴い発生する温室効果ガスは、自然災害の一因となり、農業に打撃を与える悪循環を及ぼします。

私たちができること

「もったいない」を意識し、食べ残しを減らすこと

◎ 次の取り組みを家庭や職場で積極的にいきましょう

▼ 3キリ運動（食材は必要な分だけ買って使い切る、食べる分だけ料理し食べ切る、生ごみは水切りしてから捨てる）

▼ 30・10運動

（宴会における乾杯後の30分間、お開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを削減する）



食品ロス削減国民運動のロゴマーク「ろすのん」

本市の主な取り組み

▼ 農家の担い手支援と確保、農産物販路の多様化促進



▼ 「お富ちゃん食育カルタ」を活用した食に関する意識の醸成、地産地消による安全・安心な食生活の促進



「2 飢餓をゼロに」における総合計画中期基本計画の対応
▼ 農林業振興の推進
▼ 保健・医療・救急体制の充実 など

募集

SDGs ロゴマーク デザイン

SDGsにより関心を持ってもらうために、本市をイメージでき、愛着のわくオリジナルSDGs ロゴマークのデザインとキャッチフレーズを募集します。デザインは、「クラウドソーシング」を活用し、公募します。ロゴマークは、市が発行するチラシへの掲載などに活用します。詳しくは、募集期間中

にウェブサイト「CrowdWorks」を確認ください。
※1 クラウドソーシングとは、インターネットを利用して不特定多数の人に業務の発注や受注者の募集を行うウェブサービス。
募集期間 2月3日(月)～17日(月)
応募方法 CrowdWorks上で本市が公開する仕事（コンペ形式）から応募。
※応募には会員登録が必要（登録無料）

check!



※納品ファイルはイラストレーター形式(ai)
報酬(契約金額) 採用作品1点…3万円



参考事例(富山市)

「1」利用ください

図書館では、SDGsに関する書籍を見書から一般書まで集めた「SDGsを学ぶ」コーナーを設置しました。今後ともコーナー充実に向けて資料の収集を進めていきますので、ぜひご利用ください。



富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合 平成30年度決算概要

歳入は、総額17億2,757万7千円となり、構成比では、分担金及び負担金が14億9,947万7千円で全体の86.8%を占めています。

歳出は、総額17億170万3千円となり、構成比では、消防費が13億3,240万8千円で78.3%と大きく、次いで教育費が1億1,197万円で6.6%を占めています。

歳入歳出差引額は25,874千円となり、翌年度への繰越金としました。

問い合わせ 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合 (☎62-5261)

歳入	決算額	構成比
分担金及び負担金	1,499,477千円	86.8%
使用料及び手数料	35,730千円	2.1%
県支出金	8,291千円	0.5%
繰越金	49,067千円	2.8%
諸収入	9,312千円	0.5%
組合債	125,700千円	7.3%
計	1,727,577千円	100.0%

歳出	決算額	構成比
議会費	795千円	0.0%
総務費	65,740千円	3.9%
衛生費	102,163千円	6.0%
消防費	1,332,408千円	78.3%
教育費	111,970千円	6.6%
公債費	88,627千円	5.2%
予備費	0千円	0.0%
計	1,701,703千円	100.0%

富岡甘楽衛生施設組合の解散

富岡甘楽衛生施設組合は、本市と甘楽町によって「し尿処理施設の設置および管理に関する事務」を共同処理するため組織されています。同組合は、3月31日をもって解散し、4月1日に富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合と統合します。

統合した後も、継続して従前どおりの事務を実施します。

問い合わせ 富岡甘楽衛生施設組合 (☎64-1241)